

2022年12月27日

小島商事株式会社の「SDGs宣言」策定支援について ～地元企業のSDGs達成に向けた取組みをサポート～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、小島商事株式会社（さいたま市、代表取締役 小島 哲夫）の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせいたします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。あわせて、さいたま市の「SDGs企業認証制度」注申請支援も行っております。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

注 「さいたま市SDGs企業認証制度」

- ・さいたま市が2021年より開始した、SDGsの理念を尊重した経営を推進する市内企業を認証する制度で、企業の持続的成長に向けた取組みを後押しすることを目指しています。
- ・当行は、市内企業におけるSDGsの取組み推進に貢献するため、さいたま市との包括連携協定に基づき「むさしのSDGsコンサルティング」のサービスメニューに本制度の認証取得に向けた支援を加えています。

《SDGs宣言策定企業の概要》

項目	内 容
企 業 名	小島商事株式会社
代 表 者	代表取締役 小島 哲夫
所 在 地	埼玉県さいたま市岩槻区大戸1688-8
業 種 および 事 業 内 容	・清掃用品専門商社（清掃用器具・消耗用品、施設管理用品等） ～清潔・安全な環境づくり（クレンリネス）をプロデュースする事業を展開～
設 立	1977年12月21日
宣 言 内 容	・持続可能な地球環境の保全と清潔環境の創造 ・持続可能な労働環境の保全と清潔環境の創造 ・パートナーシップの推進でより大きなインパクトを創造する ・ワークライフインテグレーションの推進 ・社会貢献の更なる推進 (詳細につきましては別紙を参照ください。)

以上



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641 - 6111 (代)



2022年12月22日

小島商事株式会社 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 小島 哲夫

SDGsの達成に向けた取り組み

持続可能な地球環境の保全と清潔環境の創造

- ・環境負荷の低い業務用清掃機器の販売促進によって水資源を確保し、CO2排出量の削減に貢献していきます。
- ・具体的には、再生可能エネルギーでの運用を前提としたカーペット清掃に使用する水の量が従来比で最大90%削減できる『ORBOT』、節水型床面洗浄ロボット『AMR』および『ガウシウム』の販売を伸ばします。



【指標】

2021年度 削減する水使用量とCO2量 2,400 t / 2 t ⇒ 2026年度 33,514 t / 153 t

持続可能な労働環境の保全と清潔環境の創造

- ・DXの導入と効果的な運用によって働きがいを向上し、同時に森林資源の確保やCO2排出量の削減に貢献していきます。
- ・具体的には、再生可能エネルギーで運用する印刷システムを導入し、環境負荷の低い印刷を行うことでCO2排出量の削減を行います。
- ・また、DX導入によりFAXや請求書などをペーパーレス化し、受注業務をWEB化することで、生産性と働きがいの向上を目指します。



【指標】

2021年度 業務の紙使用量 約77万枚 ⇒ 2026年度 16万枚以下 (▲80%削減)

パートナーシップの推進でより大きなインパクトを創造する

- ・クレンリネス(※)を通じて取引先やパートナー企業にSDGsの普及活動を行っていきます。

(※) 施設を利用する利用者目線での清潔、衛生、安全環境の提供のことです。

- ・具体的には、低環境負荷清掃機器の納入先を中心にSDGsの取り組みを促し、SDGsを推進するためのツールの提供や社内研修等を通じてパートナーを増やし、パートナーと共にSDGsを推進していきます。



【指標】

SDGsを共に推進するパートナーの目標数 2026年度 574社

ワークライフインテグレーションの推進

仕事(ワーク)と家庭(ライフ)両方を充実させる環境構築を推進します。
(リモートワーク、短時間労働制、有給休暇取得促進など柔軟な対応)



社会貢献の更なる推進

事業を通じて社会貢献や地域貢献を行っていきます。
子供食堂や子供応援ネットワーク埼玉への支援を行っていきます。

